

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外184名

一審被告 関西電力株式会社

## 上 申 書

平成29年1月24日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 佐藤辰弥

同 弁護士 笠原一浩

ほか

一審原告らは、平成28年10月14日の証拠申出書のうち、「3 尋問事項」につき、別紙のとおり補充する。

記

(別紙)

## 尋問事項 (証人 島崎 邦彦)

- 1 証人の経歴、業績及び専門
- 2 活断層学会2014年度秋季学術大会から同2015年年度秋季学術大会までの証人の研究発表内容
  - (1) 活断層学会2014年度秋季学術大会の学会受賞記念講演、日本地球惑星科学連合 連合大会2015年大会、同年度日本地震学会秋季大会、及び同年度日本活断層学会秋季学術大会の研究発表内容
  - (2) 「ポストディクシオン」の考え方について
  - (3) 厚さ14 km、垂直な断層を仮定して、入倉・三宅式を変形した理由、根拠
  - (4) 設定された断層長の意義、根拠
  - (5) 検討用に7つの地震を選定した理由
  - (6) 変形した入倉・三宅式と他の式とで適用結果が大きくことなることについて考えられる理由
- 3 2106年日本地球惑星科学連合 連合大会の研究発表内容
  - (1) 日本地球惑星科学連合 連合大会2016年大会における研究発表内容と従前の発表との関係
  - (2) 適用した断層面積の推定値の根拠
  - (3) 用いられたずれの量の根拠
  - (4) 入倉・三宅式について検討された結果
- 4 2016年熊本地震について検討した内容
  - (1) 熊本地震について国土地理院の震源断層モデルを検討した理由
  - (2) 熊本地震の地表地震断層の長さ(熊原)を入倉・三宅式に適用した理由
  - (3) 日本活断層学会2017年度秋季学術大会で発表した内容
- 5 証人の見解に対し入倉孝次郎京都大学名誉教授が自身のホームページで公表した見解について
- 6 熊本地震について瀨瀬一起東京大学地震研究所教授が公表している見解について

- 7 地震調査研究推進本部地震調査委員会において行われている強震動予測について
  - (1) 長期評価及び全国地震動予測地図作成に当たり用いられている経験式について
  - (2) 「震源断層を特定した地震の強震動予測手法」(「レシピ」) 1.1.1(a)の(ア)の手法と(イ)の手法の関係
  - (3) 平成28年12月9日の修正の解釈
  
- 8 平成28年7月頃に原子力規制庁が実施した大飯原発の基準地震動の試算について
  
- 9 証人が大飯原発の適合性審査を原子力規制委員会の委員として担当していた時の認識について
  
- 10 入倉・三宅式のばらつきと証人の見解との関係について
  
- 11 その他本件に関連する事項一切

以上